



▲宵宮、本宮の両日、境内を所狭しと練り回る天王寺地区の神輿方による大迫力の「金銀神輿のお練り」



▲市中を横断する渡御列の中心の御鳳輦(昭和8年撮影)



▲平成26年に復興した渡御列の御鳳輦

# クローズアップ天王寺

## 「陸の生國魂 川の天神」 「伝統を守りたい」 地域の想いが一つに



### 「陸の生國魂 川の天神」

今年も7月11日(火)、12日(水)に、いくたまさんの夏祭り「生國魂祭」が盛大に催されます。

大阪天満宮の天神祭が「川の天神」なら、生國魂祭は「陸の生國魂」。渡御列も、天神祭の「船渡御」に対して、生國魂祭は「陸渡御」と称され、天神祭、住吉祭と合わせて大阪三大夏祭りの魁として親しまれていました。

ご神体を神社から旧鎮座地の大阪城までお納めする渡御列は、豊臣秀吉が奉納したと伝わる「枕太鼓」を先頭

に、お囃子と太鼓の音を響かせながら、谷町筋を約2時間かけて練り歩きます。ちなみに戦前、最盛期の渡御列は、約2000名を超える賑わいだったと伝えられています。

### 平成26年に渡御行列が復活

ところが大阪大空襲により、生國魂神社は本殿を始めとする社殿群が被災し、ご神体を運ぶ大切な御鳳輦や神輿などの祭具や史料が失われました。昭和24年に建物は再建されるも、翌25年のジェーン台風の被害で倒壊しました。平成2年に略式の神輿を作製した

ことを機に車両による渡御が再開しましたが、人力による渡御列の実現は叶いませんでした。

伝統行事について人々の記憶が薄れてくるなか、氏子を中心に「祭りを後世に伝えたい」という機運が高まり、市民の寄附により御鳳輦が作製され、平成26年、ついに渡御列が約70年ぶりに復活したのです。この年は、子どもから大人まで約500名が参加しました。戦前の渡御の賑わいがよみがえったようなその風景に、沿道には手を合わせた当時を知るお年寄りも少なくありませんでした。

このとき、生國魂祭復活という大役を任されたのが、現天王寺区地域振興会会長の小野陽太郎さん。

「道路の使用許可、ガードマンの配置など安全面を警察へ協力依頼し、次に必要な資金や人を集めるため、神社と地域団体の間を奔走しました。地域の協力がなければ復活することはなかったでしょう」

### 上方文化を築いた「芸能の神様」

生國魂神社は、「芸能」とも深い関わりがあります。

浮世草子作家で俳人の井原西鶴は、神社の南坊で、24時間で四千句を詠んだ「大矢数四千句」を含む「西鶴大矢数」を出版しました。上方落語の始祖・米沢彦八は、身振りで役者をまねて笑いを取る「当世仕方物真似」で活躍し、その影響を受けた芸能者が生國魂神社から数多く輩出されました。彦八の偉業を偲び、毎年9月には「彦八まつり」が開催されます。このほか境内には、作家・織田作之助の銅像、近松門左衛門を始めとする浄瑠璃に貢献した人物が祀られている浄瑠璃神社などがあります。

「天下の台所」と呼ばれた江戸初期の大坂では、町衆が力をつけ、新しい文化・芸能が生まれました。その中心地が生國魂神社だったのです。

### 「枕太鼓」「子供太鼓」「金銀神輿」

ドン。ドン。ドン。ずっしりと重厚で迫力のある太鼓の音。赤い頭巾をかぶり、瓢箪模様の法被を着た願人と呼ばれる男衆が激しく太鼓を打ち鳴らすと、祭りが始まります。渡御の先頭を歩くこの「枕太鼓」は、東地区氏子の町衆が担い手です。

宵宮では天王寺地区の「子供太鼓」

もまちを練り歩きます。この「子供太鼓」を打ち鳴らすのは生魂小学校の4年生〜6年生の児童たち。年に一度の祭りのために、毎日放課後に練習を積み重ね、祭り当日に臨みます。



▲天王寺地区の子供太鼓

祭りの最後を飾るのが天王寺地区の「金銀神輿のお練り」です。天王寺区民の男衆のほか、上宮高校や清風高校の生徒たちが参加し、30分にわたって境内を練り回ります。その荒々しい風情に、担い手も観衆も一つになって祭りはいっそう盛り上がりを見せます。



▲天王寺地区の金銀神輿のお練り

### 「郷土愛」が地域のチカラに

「東京や外国で暮らしていても、『そろそろ祭りやから帰ろう』。そう思ってもらえるように、地域の魅力をしっかりとつくりたい」と小野会長。

8月11日(金)・12日(土)には、天文15年(1546年)、神社に「能」が奉納された故実にならう「大阪新能」も行われます。

地域ごと、また世代間で引き継がれていく踊り、太鼓や笛の音、そして祭りに寄せる「郷土愛」が、今年も地域の歴史として刻まれていきます。

※天王寺の夏祭りは12面をご覧ください。

### 目次

- クローズアップ天王寺 ..... 2
  - ▶生國魂祭
- お知らせ ..... 3
- 保健・衛生 ..... 4
- 子育て情報 ..... 5
- イベント情報 ..... 6
- 特集 天王寺区 生涯学習ルーム ..... 8
- 特集 地域活動のご紹介 ..... 10
- わがまち天王寺 ..... 12
- おおさか掲示板 ..... 13
- 近鉄バス「あべの・上本町シャトルバス 松屋町筋経由」スタート ..... 16